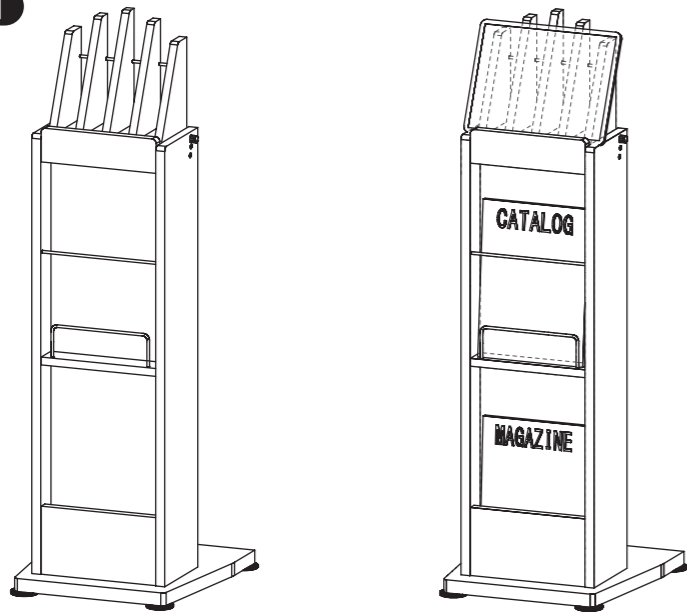


完成図

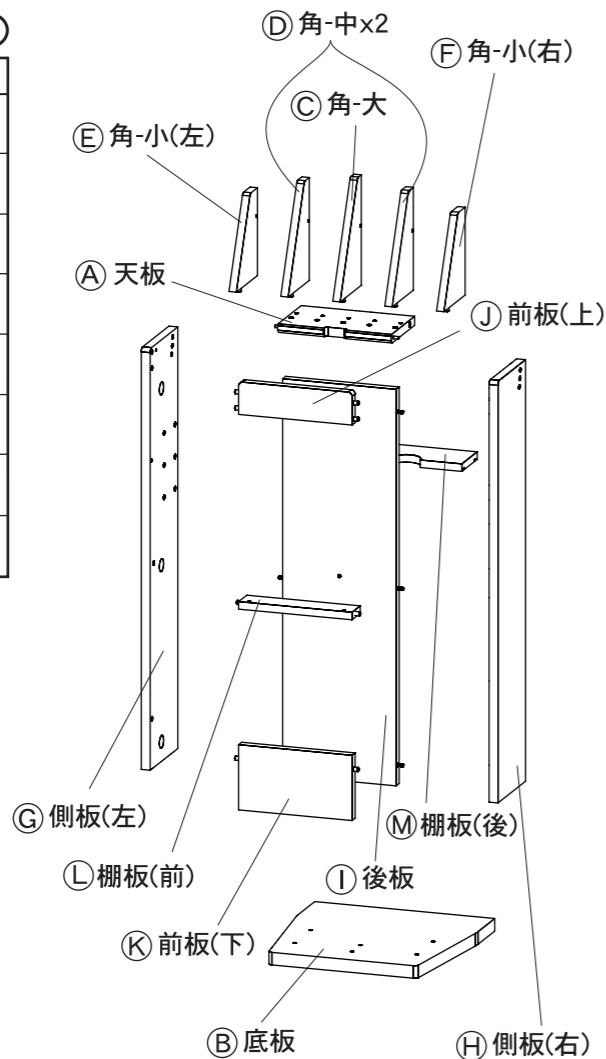


【タブレット設置イメージ】
(タブレット、カタログ等は
付属しません。)

◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。

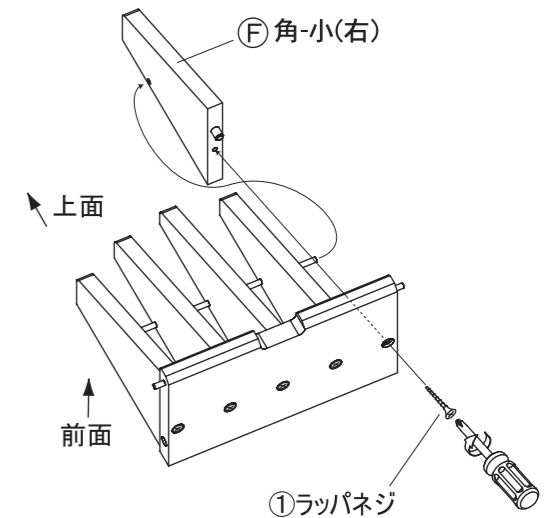
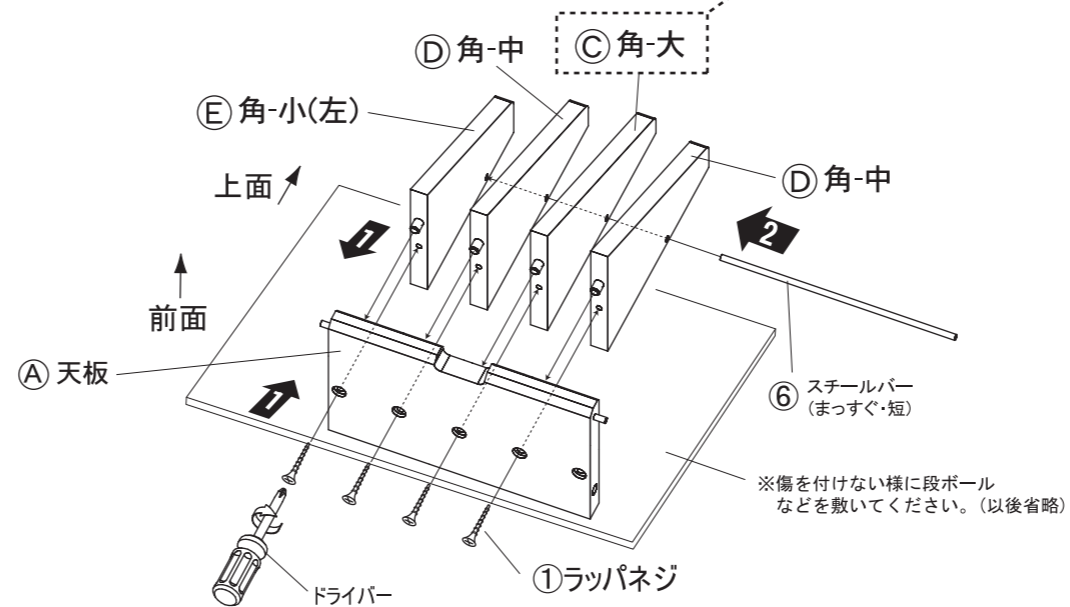
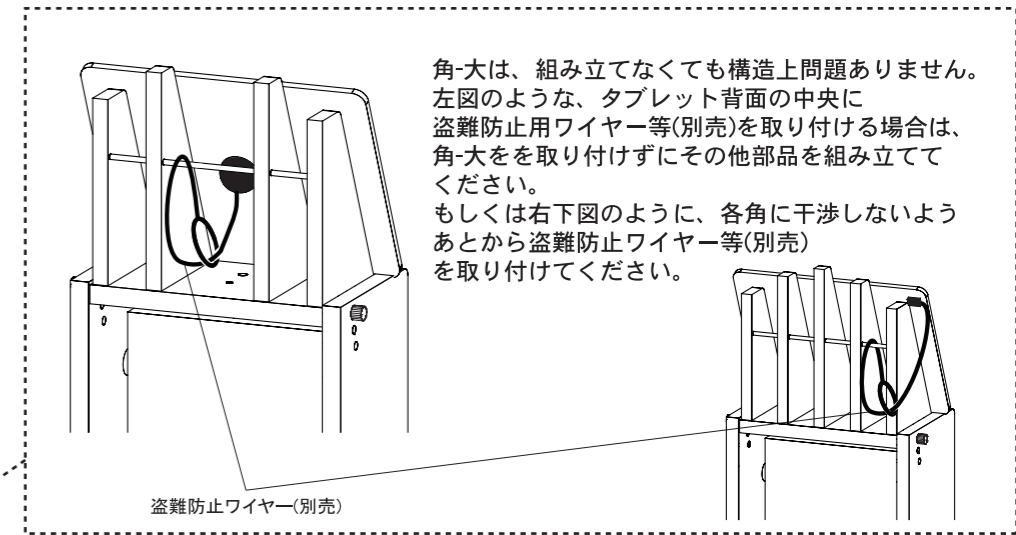
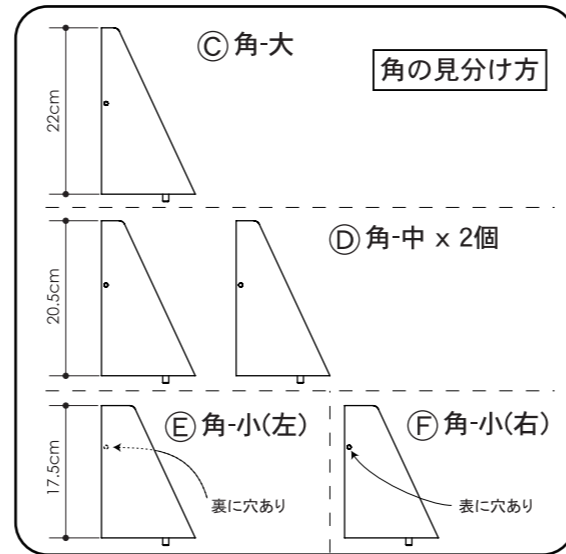
タブレットスタンド組み立て用

No.	部品図	部品名	数量
①		ラッパネジ	12
②		コインネジ M6x25	2
③		棚ピン	4
④		アジャスター	4
⑤		スチールバー (コの字)	1
⑥		スチールバー (まっすぐ・短)	1
⑦		スチールバー (まっすぐ・長)	1
⑧		クッション	4



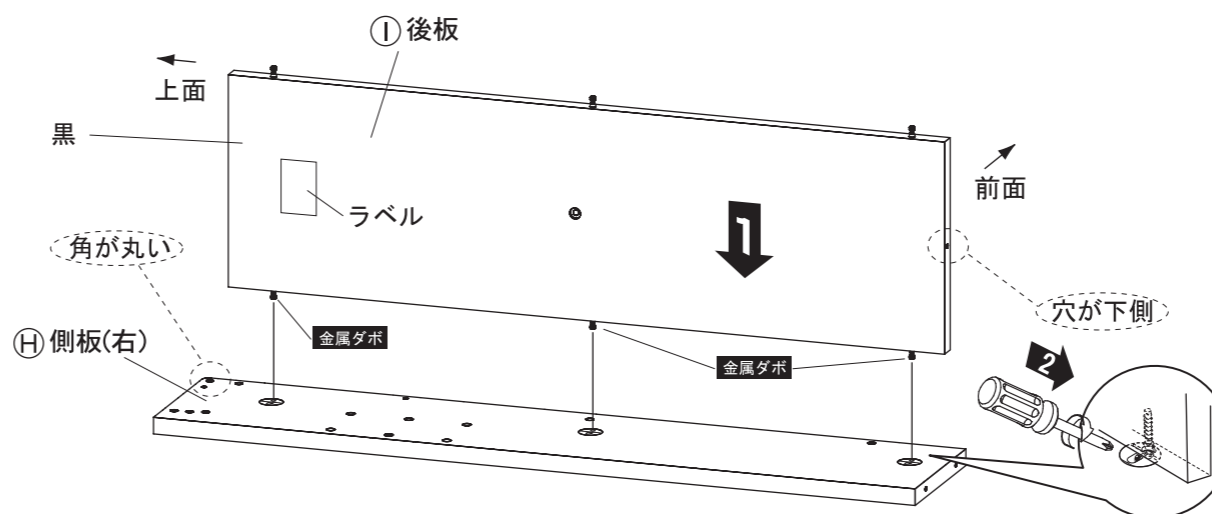
2人での組み立てを
推奨します。

1 天板と角の組み立て(タブレット設置部)



2 後板と側板(右)の組み立て

！ 後板の上下・前後を間違えないように注意

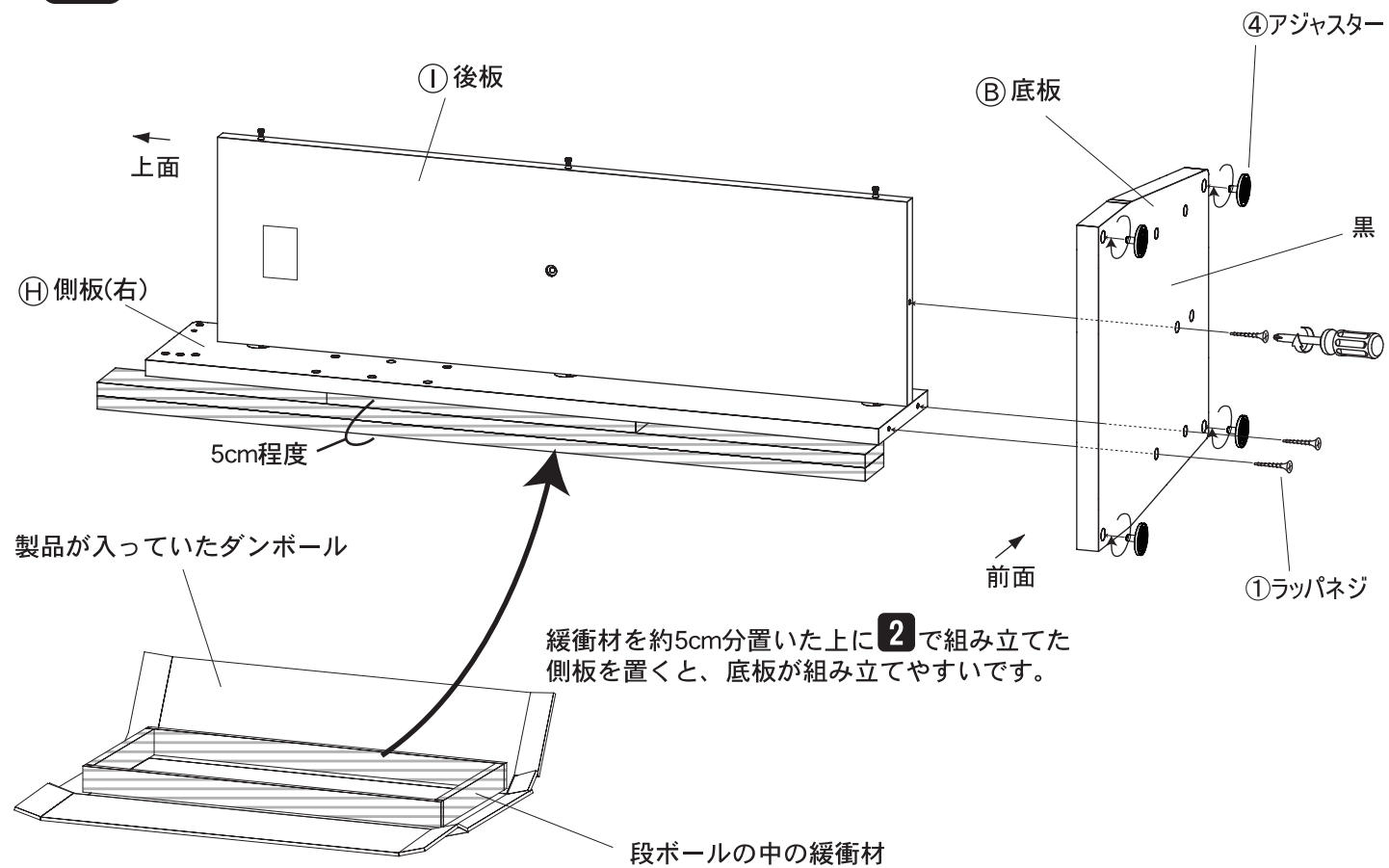


手順

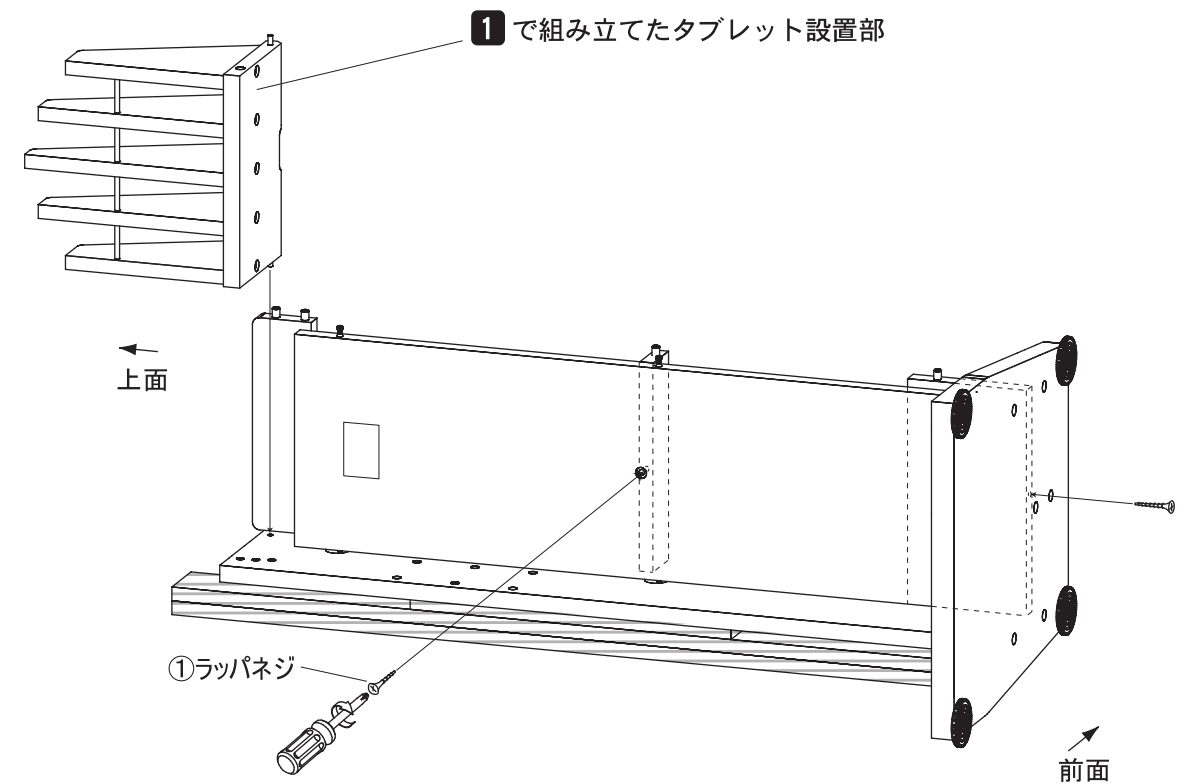
1. 後板を側板(右)のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。
2. プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。後板を上からしっかりと押さえて、組み立ててください。
※押さえが不十分だとジョイントをロック出来ない場合があります。うまくロックできない場合は、一度ドライバーで(逆)に回して最初からやり直してください。

裏面へつづく

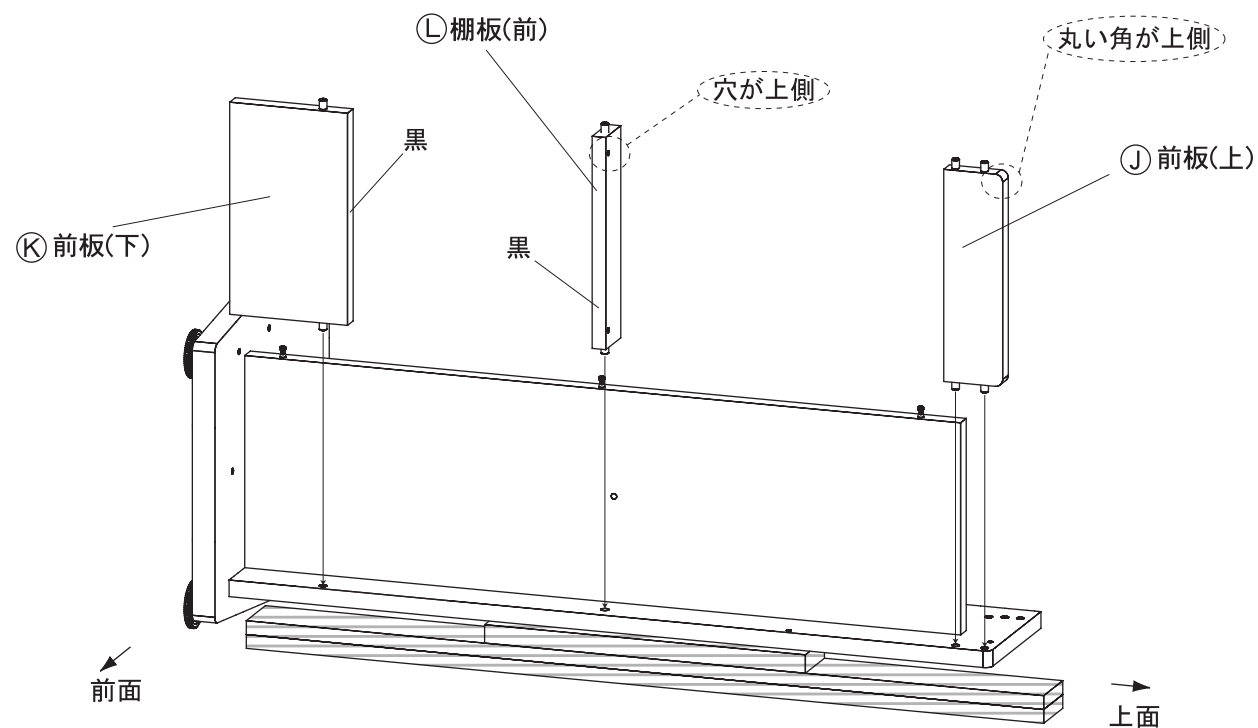
3 底板の組み立て



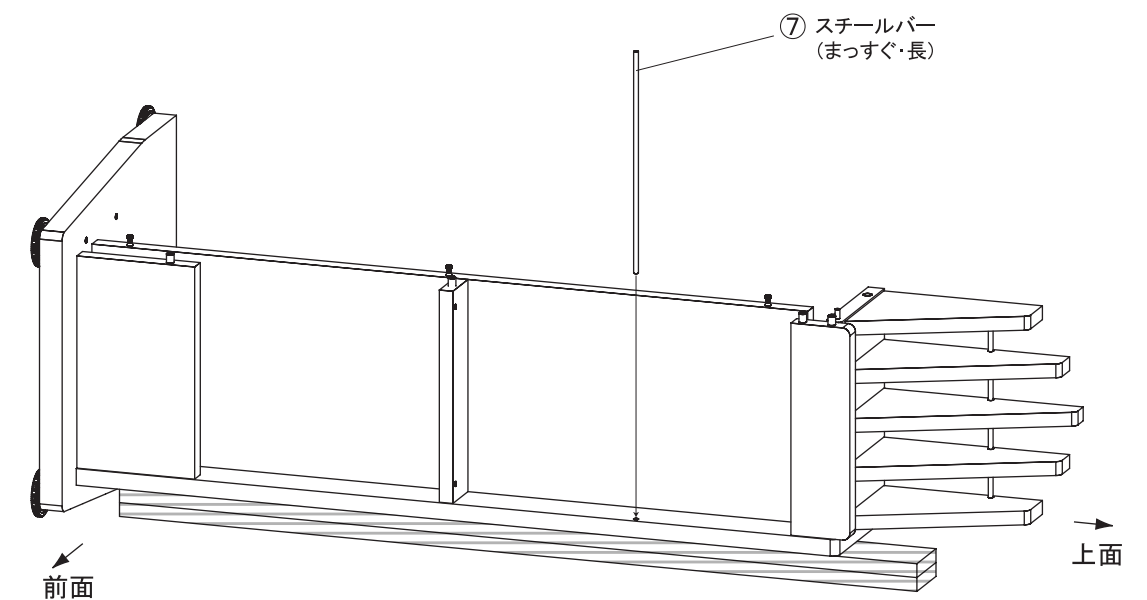
5 ①で組み立てたタブレット設置部の組み立て および 前板(下)、棚板(前)の固定



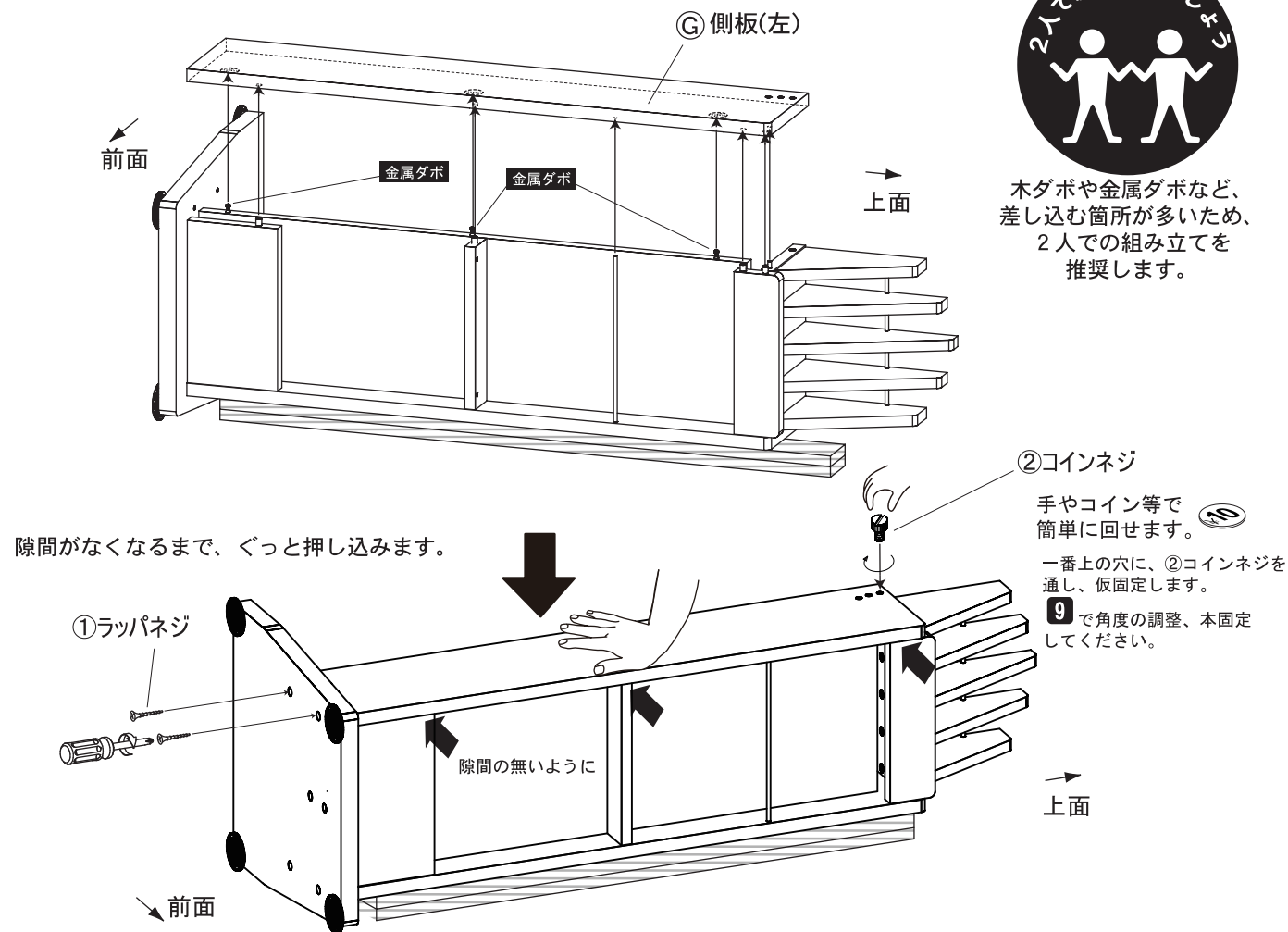
4 前板(上)、前板(下)、棚板(前)の組み立て



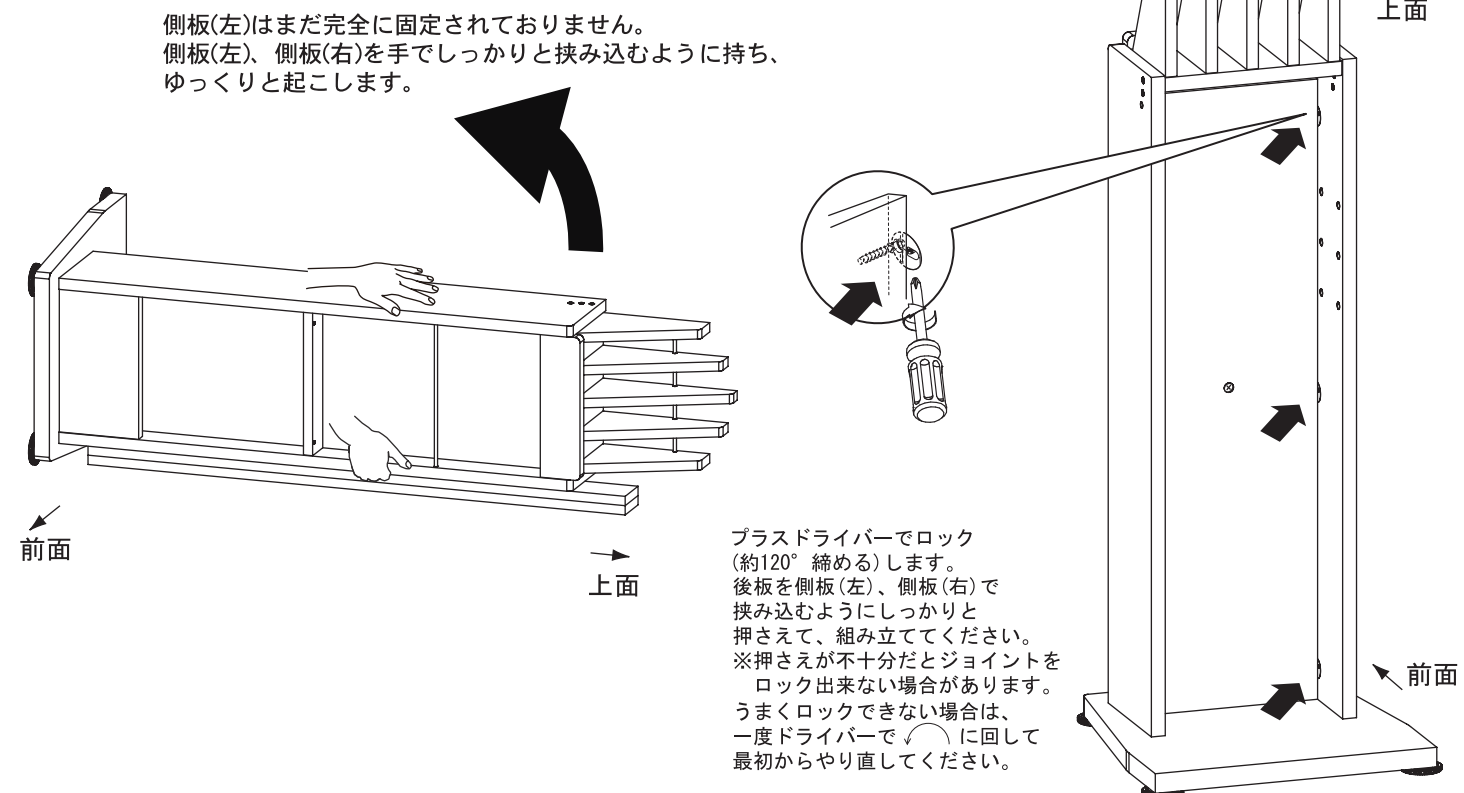
6 スチールバー(まっすぐ・長)の取り付け



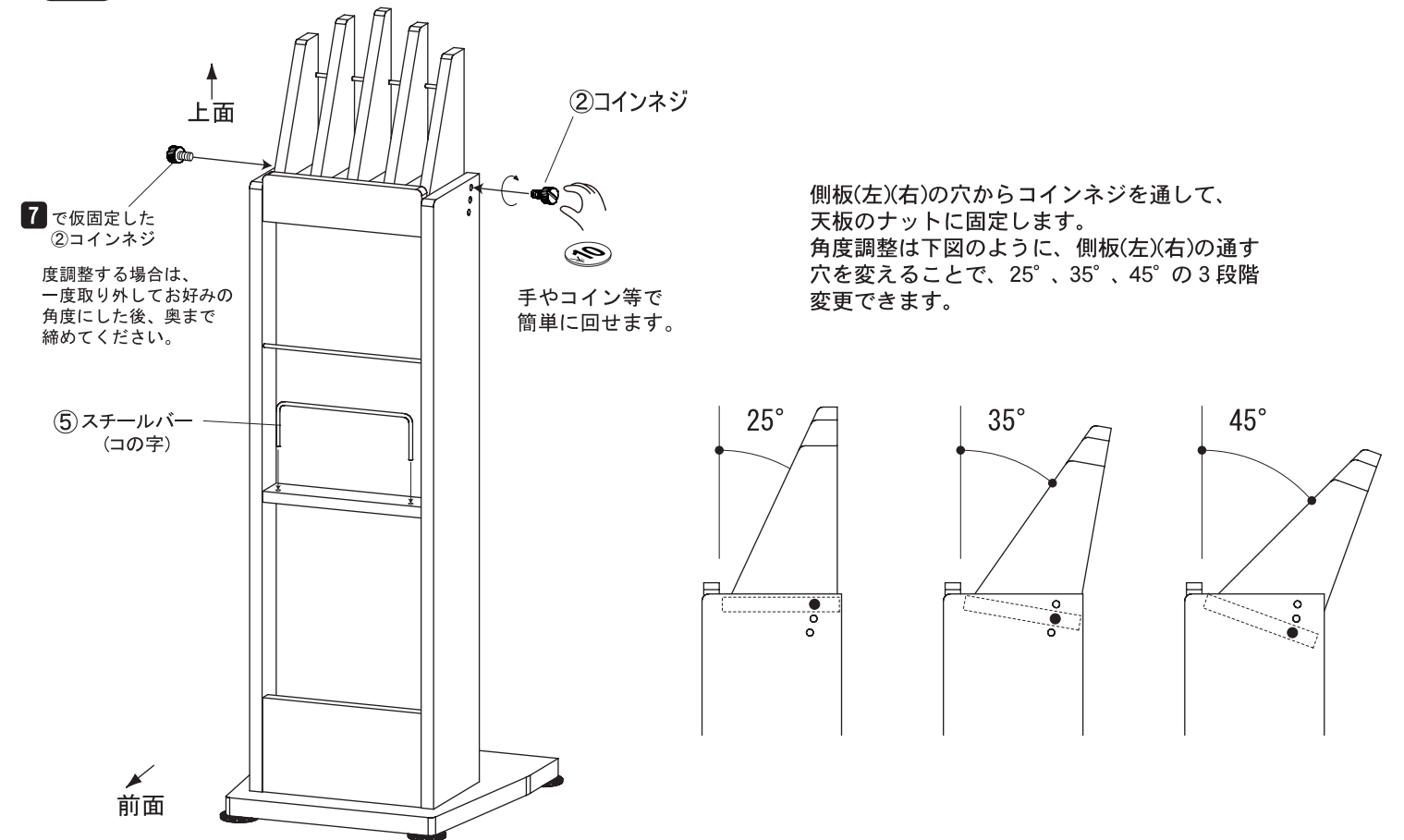
7 側板(左)の組み立て(その1)とタブレット設置部の仮固定



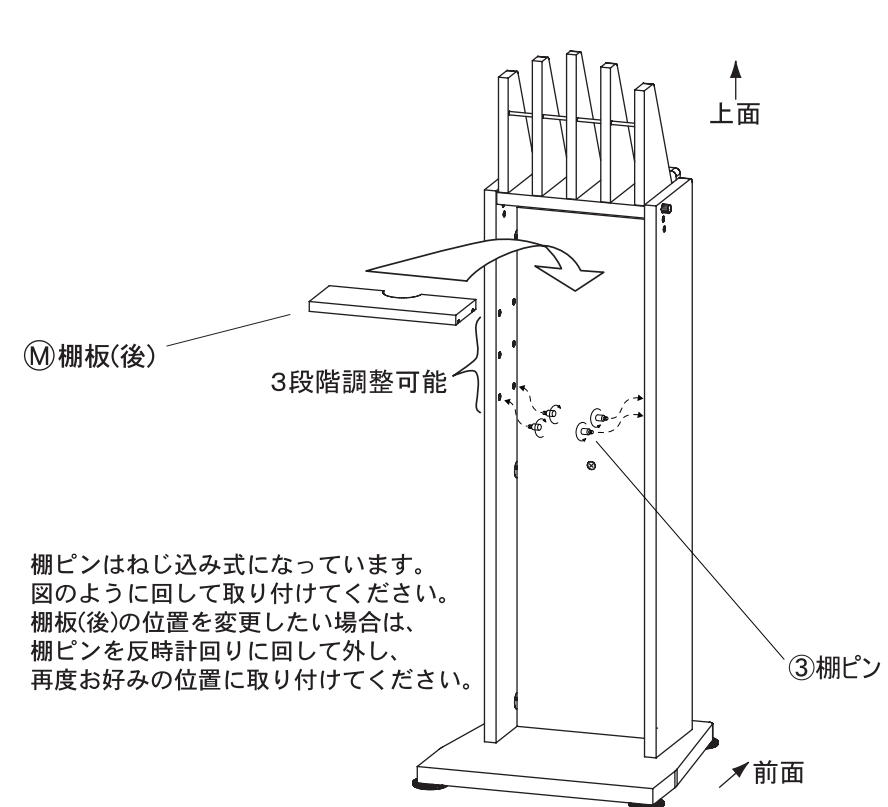
8 側板(左)の組み立て(その2)



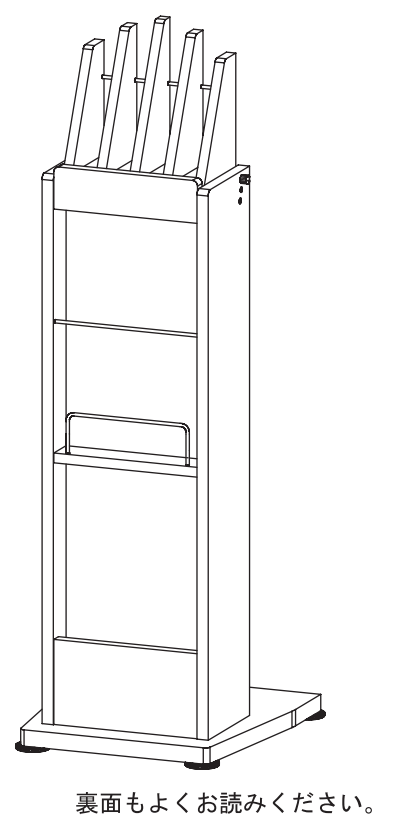
9 スチールバー(コの字)の取り付け、タブレット設置部の固定と角度調節方法



10 棚板(後)の取り付け

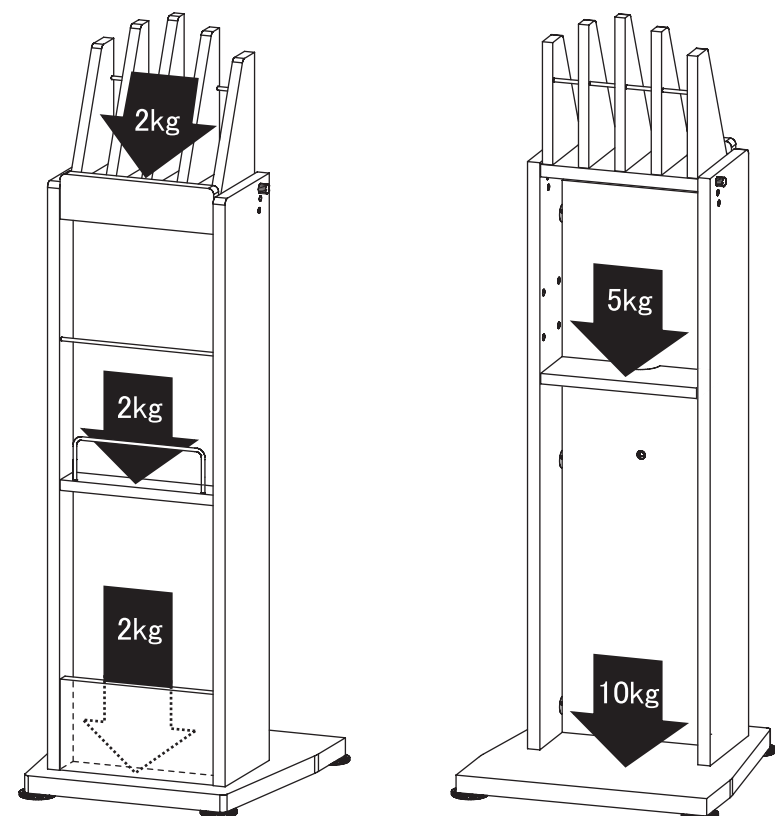


11 完成



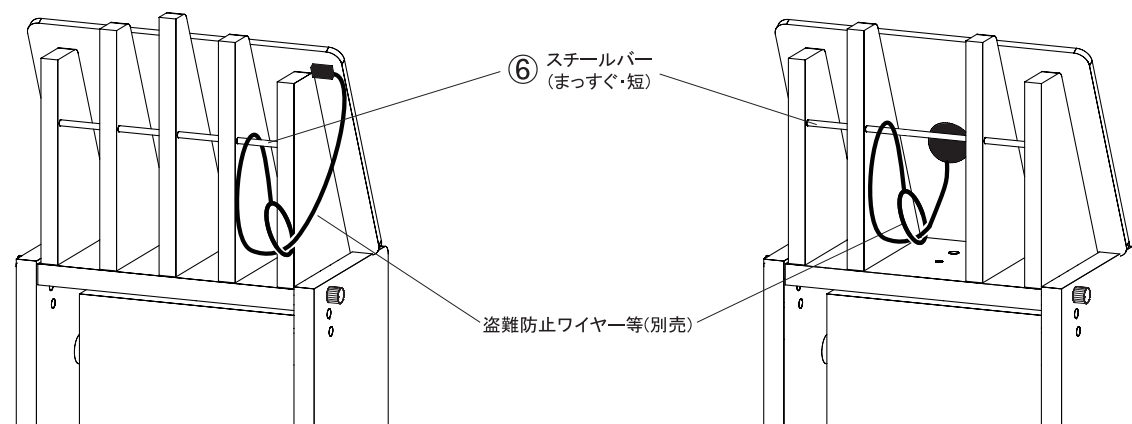
耐荷重について

各部の耐荷重は、右図の通りです。
耐荷重の範囲内でお使いください。



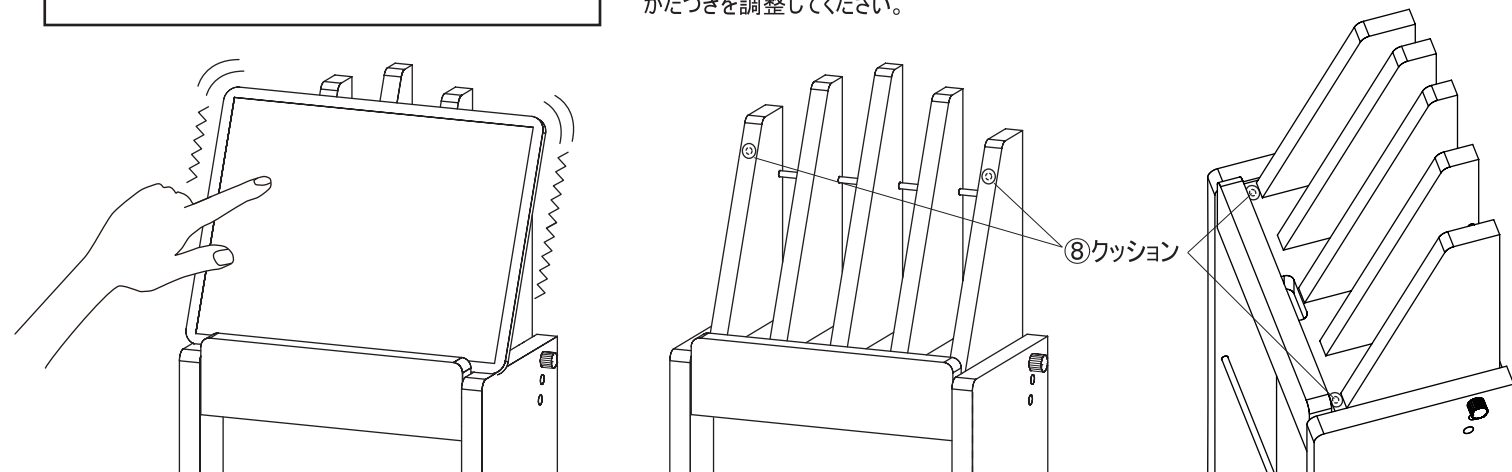
盗難防止ワイヤー等(別売)の取り付け

盗難防止ワイヤー等は、タブレット設置部後ろの⑥スチールバー(まっすぐ・短)に取り付けてください。



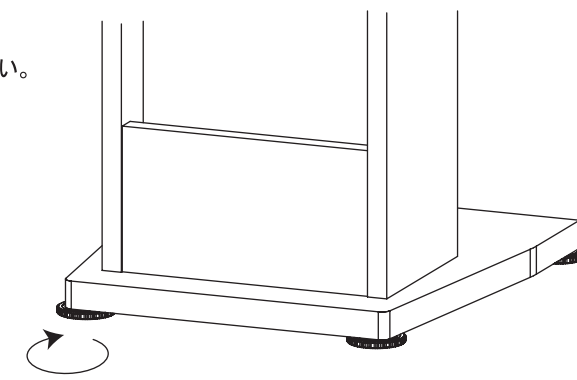
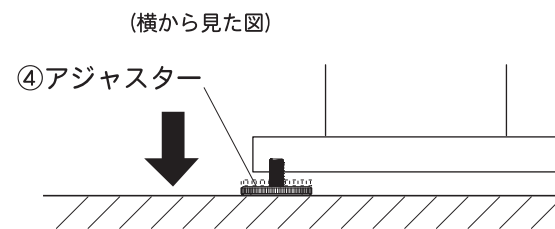
設置したタブレットがガタつく場合

カメラの凹凸などタブレットの背面形状により、使用時にタブレットがガタついてしまう場合は、一度タブレットを外し、下図のようにがたつきが発生する箇所に⑧クッションを張り付けて、がたつきを調整してください。



アジャスターについて

床面の凹凸により、タブレットスタンド本体がガタつく場合は、アジャスターを調整してください。



ありがとうございました。

使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- スタンドにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください
スタンドが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。
- 振動のある場所に置かないでください
振動でタブレット等が落下したり、スタンドが転倒するなどして、けがの原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
スタンドが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください
スタンドの強度が保たれなくなりタブレットが落下したり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 空調設備の吹き出し口、吸い込み口のそばに設置しないでください。
火災の原因となることがあります。 ■ 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。 ■ 移動・設置において <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させるときは取付けている機器を持って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります ● 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタつきがないか確認をしてください。ガタつきがあると変形・転倒の原因となります。 ■ 屋外など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 手や指はさみにご注意ください
可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にタブレットを設置する時にご注意ください。 ■ 記載されている耐荷重以上は載せないでください。
商品が破損したり、スタンドが転倒してけがをする恐れがあります。 ■ 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください。
変形をしてディスプレイが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。 ■ ワックスが塗布されている場所に設置される場合は、キャスターの劣化に御注意ください。
ワックスの成分によっては、キャスターの劣化を促進する恐れがあります。 ■ 転倒防止の処置を行ってください
転倒防止の処置を行わないと、スタンドが転倒しけがの原因となることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。 |
|---|---|

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。